

フラれても諦めない！失恋経験のある女性の約3割が「フラれても食い下がったことがある」と回答。
 フラれた女性の4割は復讐心アリ！？

「失恋」に関する実態調査

オウチーノが元カレ・元カノへの未練をつづる「100文字失恋レター」を大募集！—失恋総選挙

住宅・不動産専門サイト「O-uccino(オウチーノ)」を運営する株式会社オウチーノ(本社:東京都港区/代表取締役社長 兼 CEO:井端純一/証券コード:6084)は、この度、元カレ・元カノへの未練をつづった「100文字失恋レター」を募集する「失恋総選挙」(<http://www.o-uccino.jp/chintai/contents/campaign/>)の開始に伴い、20~39歳の男女554名に『失恋』に関する実態調査を行いました。

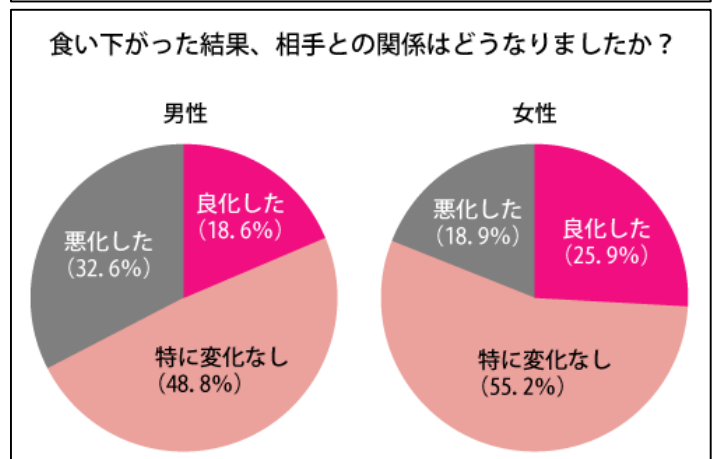
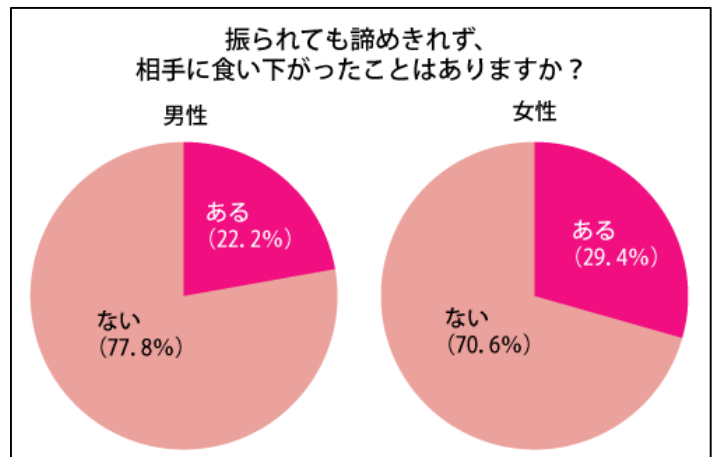
■ 7割は失恋経験者。

はじめに、失恋経験の有無について聞いてみました。失恋経験が「ある」と回答したのは70.6%、「ない」と回答したのは29.4%と、20、30代の7割は失恋経験があることが分かりました。

■ 男性より女性の方が、フラれても諦めない！

次に、失恋経験者たちに「フラれても諦めきれず、相手に食い下がったことはありますか？」という質問をしました。「ある」と回答したのは男性が22.2%に対して、女性が29.4%と、男性よりも女性の方が多という結果になりました。また、失恋経験のある女性のうち約3割が、フラれても諦めきれず、相手に食い下がった経験があることが分かりました。

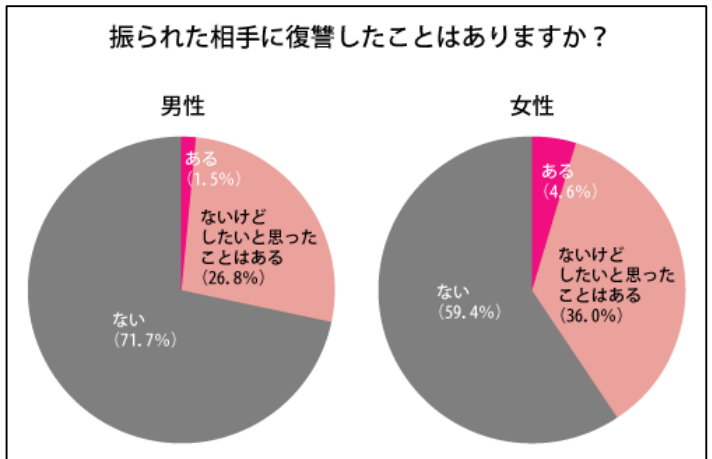
さらに「食い下がったことがある」と回答した人たちに、「食い下がった結果、相手との関係はどうなりましたか？」という質問をしました。その結果、男女ともに「特に変化なし」が最も多かったのですが、男性は関係が「悪化した」(32.6%)と回答した人の方が「良化した」(18.6%)より多かったのに対し、女性は「良化した」(25.9%)と回答した人の方が「悪化した」(18.9%)より多くなりました。失恋しても諦めず食い下がった結果、女性はなんと4人に1人が、「ヨリが戻った」、「告白が成功した」など、良い結果につながったそうです。一方、男性は「嫌われた」、「ストーカーと思われた」など、失敗したケースの方が多ようです。



■4割の女性は復讐心アリ！？

次に、「フラれた相手に復讐したことはありますか？」という質問をしました。「ある」と回答したのは男性が1.5%、女性が4.6%と、ごく僅かでしたが、男性で26.8%、女性では36.0%が「ないけど、したいと思ったことはある」と回答しました。女性の約4割は、フラれた相手に復讐心を持った経験があることが判明しました。

実際に復讐をしたことのある人に、その内容を具体的に聞くと、「平手打ち」(32歳/女性)、「迷惑メールを送り続けた」(36歳/男性)、「呪いのわら人形を作った」(29歳/男性)、「新しい彼女と別れさせた」(22歳/女性)、「相手がフリーになって告白してきた時にフッてやった」(22歳/女性)などの回答が挙がってきました。

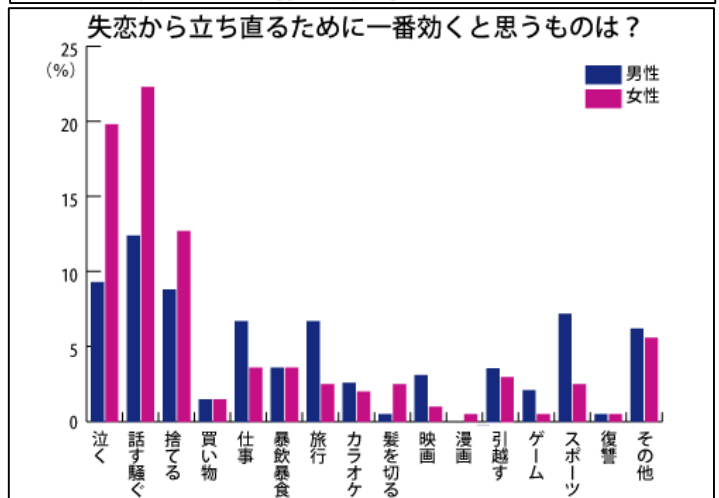
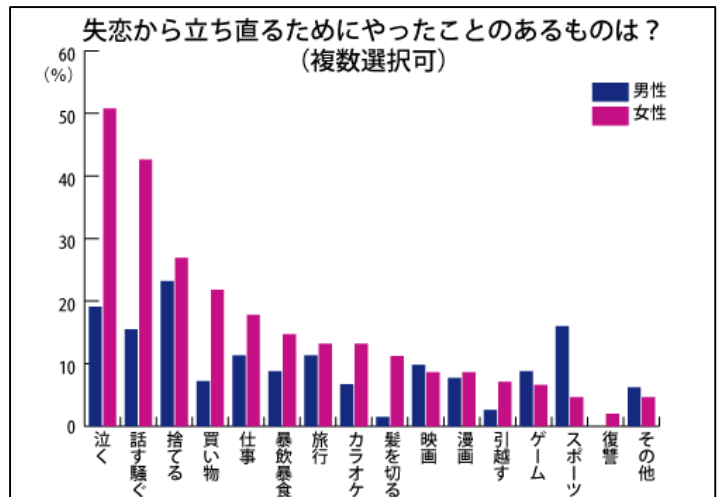


■女性が失恋から立ち直るのに最も効果的なのは、「友達と話す、騒ぐ」

最後に、「失恋から立ち直るためにやったことがあるもの」と「失恋から立ち直るために一番効くと思うもの」を聞きました。

最も多くの女性が「失恋から立ち直るためにやったことがあるもの」は、「泣く」で50.8%でした。次に多かったのが「友だちと話す・騒ぐ」で42.6%、3番目が「思い出の品を捨てる」で26.9%。男性で最も多かったのは「思い出の品を捨てる」で23.2%、次に「泣く」で19.1%、「スポーツをする」で16.0%でした。

一方、「失恋から立ち直るために一番効くと思うもの」として最も多くの女性が選んだのは、「友だちと話す・騒ぐ」で22.3%でした。次に多かったのが「泣く」で19.8%、そして「思い出の品を捨てる」が12.7%で続きました。男性が最も多く選んだのは「友だちと話す・騒ぐ」で12.4%、2番目が「泣く」で9.3%、3番目が「思い出の品を捨てる」で8.8%でした。



<調査概要>

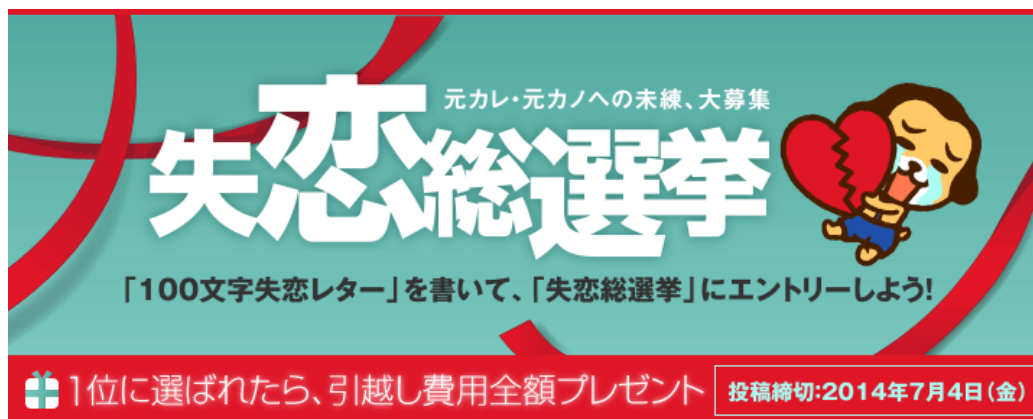
有効回答: 首都圏に暮らす 20~39歳の男女 554名
調査方法: インターネットによるアンケート調査
調査期間: 2014年6月3日(火)~6月4日(水)

<参考>

元カレ・元カノへの未練、大募集

失恋総選挙

～本当に応援しないといけないのは、こっちでしょ！？～



オウチーノは2014年6月6日(金)より「失恋総選挙」を開始、元カレ・元カノへの未練を断ち切る手紙「100文字失恋レター」を募集しています。送っていただいた「100文字失恋レター」は、「失恋総選挙」キャンペーンページへ掲載し、2014年6月20日(金)より一般投票を開始します。

恋が終わったのに、なかなかあの人への思いが消えてくれない—。そんな時はまず、思いの丈をぶちまけるのが一番です。手のひらサイズの未練も、両手じゃ抱えきれない未練も、100文字のなかに込めることで、未練を断ち切るきっかけにいただけます。

さらにオウチーノは、新たな恋を応援すべく、一般投票で最も共感を集めた「100文字失恋レター」の投稿者に、引越し費用全額(引越し代金、転居先(賃貸)の敷金、礼金、仲介手数料。上限50万円)をプレゼントします。元カレ・元カノとの思い出が詰まった部屋にいと、忘れようと思っても、ふいにあの楽しかった日々がよみがえってきってしまうもの。まずは住環境を変え、新たな恋に向かう第一歩としていただければと思います。

加えて、今回はブランド品宅配買い取りサービス「ブランディア」を運営する、株式会社デファクトスタンダード(本社:東京都大田区/代表取締役社長:尾嶋崇遠)とタイアップをし、「失恋総選挙」キャンペーンページより「失恋BOX」の申込みが可能となっております。「失恋BOX」とは、家に残った元カレ・元カノとの思い出の品を専用の箱に入れて送ると、一箱につき100円が、途上国の妊産婦や女性を守る支援活動をする国際協力NGO ジョイセフの活動に役立てられるというものです。思い出の品を売って過去の未練を断ち切ると同時に、国際協力に参加することができます。

「ジューンブライド」でたくさんの花嫁さんたちが幸せをつかむ6月。その一方で、恋に破れてしまう人、過去の失恋から立ち直れないでいる人だっています。「失恋総選挙」が、少しでも多くの方が未練を吹っ切り、新たな恋へ向かうきっかけとなればと思います。

▼「失恋総選挙」キャンペーンページ

<http://www.o-uccino.jp/chintai/contents/campaign/>